

氏名	白土 佳子	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	基礎医学、生物科学、境界医学（免疫学、幹細胞生物学（造血幹細胞）、細菌学、病態検査学）				
学位	博士（理学）				
学歴	1987年北里大学衛生学部産業衛生学科卒業（保健衛生学士）、2004年東邦大学大学院理学研究科生物分子科学専攻博士課程前期修了 修士（理学）、2007年東邦大学大学院理学研究科生物分子科学専攻博士課程後期修了 博士（理学）				
経歴	1987年聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院臨床検査部 臨床検査技師、同臨床検査部 主任臨床検査技師(2004年2月まで)、2007年千葉大学医学部 産学官連携研究員、2007年東京女子医科大学先端生命医科学研究所 博士研究員、2014年群馬大学保健科学部検査技術学科講師、2015年同大学大学院保健科学研究科博士前期課程 特別研究指導教員、2018年同大学大学院保健科学研究科博士後期課程 特別研究指導教員、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻 准教授、2019年同大学院大学院保健医療福祉学研究科博士前期課程 健康福祉学専修 研究指導教員				
所属学会（役職）	日本臨床衛生検査技師会、埼玉県臨床検査技師会、日本臨床微生物学会、日本検査血液学会、日本再生医療学会、日本電気泳動学会、日本未病システム学会、日本輸血・細胞治療学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績					
(1) 著作					
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名 発行等年月
1	該当なし				
(2) 論文					
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名 発表等年月
1	Antimicrobial activities of Dictyostelium differentiation-inducing factors and their derivatives.	共著	あり	Biomolecules、9(5)、163	Kubohara Y, Shiratsuchi Y, Ishigaki H, Takahashi K, Oshima Y, Kikuchi H. 2019.4.
(3) 学会発表					
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	ノック式胸腺刺激が及ぼす抑制性免疫応答への影響	共同	第26回日本未病システム学会学術総会、名古屋	○橋本梨央、熊谷美優、 <u>白土佳子</u> 、小河原はつ江、福生吉裕	2019.11.
2	ノック式胸腺刺激法によるNK細胞活性化の評価（第三報）	共同	第26回日本未病システム学会学術総会、名古屋	○熊谷美優、橋本梨央、 <u>白土佳子</u> 、小河原はつ江、福生吉裕	2019.11.
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	埼玉県立大学奨励研究（A研究）	疾病予防に繋がる新たな免疫賦活法の確立		研究代表者	2019.4～2020.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	遺伝子検査学	○	15	遺伝子・染色体の基礎と遺伝子関連検査・染色体検査技術の原理・方法・適用例を概説し、検査診断への実際から応用までを含めた講義を行った。HLAに関する基礎知識や移植免疫に関する知識とともに、医療現場における最新の臨床検査法も交えて講義を行った。 大学院前期課程：分子免疫学的手法による病因・病態解析法や治療法について、最近の研究動向も交えた講義を行った。	
2	分子免疫遺伝学	○	15		
3	病因病態検査学		2		
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	臨床免疫学Ⅱ	○	30	輸血療法を実施するにあたり必要とされる輸血・移植の知識と各種検査の意義・検査法の原理及び方法を修得するための講義を行った。 科目担当者として積極的に研修に参加。学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートした	
2	IPW演習		15		

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床免疫学実習Ⅱ	○	45	輸血検査の知識や検査技術について、各種検査の意義・検査法の原理及び方法をまとめた実習書を作成し、実習を行った。
2	遺伝子・染色体検査学実習	○	45	基本的な遺伝子検査技術をより深く理解・習得するために、自身の検体を用いてPCR法による遺伝子検出・解析実習を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2019.12	主指導 2名	副指導 名
2	修士論文	2019.4～現在	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	臨地実習病院担当教員としての学生指導	2019.12～2020.3	臨地実習病院担当教員として、学生指導を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	生命科学体験講座 いのちを体験しよう	埼玉県立大学	血液1滴であればこれもこれも調べよう！」という内容にて公開講	2019.7.
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会	国家試験対策委員会委員		2019.12～現在
2	埼玉県臨床検査技師養成校連絡協議会	委員		2019.4～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員		2019.4～2020.3
2	学科等における委員会等	検査技術科学専攻 大学院教務・カリキュラム担当、大学院博士後期課程設置準備担当		2019.4～現在
3	学科等における委員会等	検査技術科学専攻 入試実施担当		2019.4～現在
4	学科等における委員会等	検査技術科学専攻 将来構想検討委員		2019.6～現在
5	学生支援	検査技術科学専攻 1年次学生担任		2019.4～2020.3
6	学生支援	検査技術科学専攻 アドバイザー		2019.4～2020.3
7	大学広報活動	検査技術科学専攻 オープンキャンパス		2019.6., 8.
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				